

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.9 億円
		通常砂防事業 のうち 農地川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市 山東町 塩田 ^{しおた}			19年度	19年度	22年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、市道及び災害時の指定避難所である塩田公民館を保全する。			・砂防えん堤工 2基 (H = 8.0m, L = 42.0m) (H = 5.0m, L = 30.0m) [負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・農地川は土石流危険渓流である。 ・平成16年8月の台風16号により、渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・溪流勾配は約1 / 3と急で、渓岸の侵食が激しく土石流発生の危険性は高い。 ・保全対象: 人家 = 13戸、公共施設 = 市道、塩田公民館(避難所) その他 = 橋梁2基、田畑 = 0.91ha				
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路である市道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策指定地域及び過疎対策法対策市に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家13戸)、地域の生活道路である市道及び災害時の指定避難所である塩田公民館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家13戸、市道及び災害時の指定避難所である塩田公民館がある。 ・流域状況は平成16年8月の台風16号により土砂が流出し、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、塩田地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				